

「国家的に重要な研究開発の事前評価」 のフォローアップについて（案）

総合科学技術会議では、内閣府設置法第 26 条第 1 項第 3 号に基づき、国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から、大規模な研究開発その他の国家的に重要な研究開発の評価を実施している。

評価の実施に関しては、平成 17 年 10 月 18 日の総合科学技術会議における決定事項として、新規の大規模研究開発については事前評価を行うこととされている。さらに、この事前評価を実施した研究開発については、研究開発が開始された後に評価専門調査会がフォローアップを行うこととされている。

これに基づき総合科学技術会議は、下記 1 の研究開発について平成 19 年度に事前評価を実施した。今般、これらの研究開発が開始後約 1 年を経過したことから、フォローアップとして、現時点における研究開発の実施状況や、事前評価において示された指摘事項への対応状況等を確認し今後の改善に資する。

記

1. 対象研究開発・担当府省

研究開発名	府省名
地域イノベーション協創プログラム	経済産業省
イノベーション創出基盤的研究推進事業	農林水産省
新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業	農林水産省

2. フォローアップの方法

総合科学技術会議が事前評価を実施した研究開発を対象に、評価専門調査会において、関係府省等からのヒアリングを実施することにより、評価結果の反映・活用状況、及びその問題点等を把握する。これに基づき、今後の研究開発の推進や、国家的に重要な研究開発の事前評価方法の改善に資するよう、フォローアップ結果をとりまとめる。

3. 調査・検討の体制及び日程

評価専門調査会において、以下のとおり実施する。

【6月4日】 第80回 評価専門調査会

- 関係府省等からのヒアリング
対象研究開発について順次ヒアリングを行い、対応状況等を確認・検討する。
- 関係府省等からの追加資料の提出
- 追加コメントの提出
議員・専門委員より追加コメントの書面提出を受け、事務局が整理する。

【7月初旬】 第81回 評価専門調査会

- 必要に応じて関係府省等からの追加ヒアリング
- フォローアップ結果の検討、とりまとめ

- フォローアップ結果を関係府省に通知

4. ヒアリング項目

- ① 研究開発の概要（目的、研究開発の体制・計画及び経費、取組状況、今後の予定等）
- ② 事前評価における指摘事項等への対応状況
- ③ その他

ヒアリングは、総合科学技術会議における事前評価の結果が、研究開発の実施計画や運営体制の改善等に適切に反映されているかを確認することを基本目的として実施する。

平成19年度に総合科学技術会議が実施した「国家的に重要な研究開発の事前評価」の概要

資料 3-参考1

目的:	平成20年度から開始予定の国費総額が約300億円以上の研究開発について、内閣府設置法に基づき総合科学技術会議が評価を行い、その結果を公開するとともに、評価結果を推進体制の改善や予算配分に反映。
検討方法:	各府省の概算要求を受けて、評価専門調査会において外部専門家等も参加して調査・検討。平成19年11月5日の同調査会で評価(案)をとりまとめ、同年11月28日の本会議で審議、決定し、関係大臣に通知。

件名	研究開発の概要	評価の概要
ラム地域イノベーション協創プログラム【経済産業省】	<ul style="list-style-type: none"> 「イノベーション創出基盤形成事業」および「イノベーション創出研究開発事業」を一体化したプログラム 「基盤形成事業」は、公的研究機関や大学、TLO等が、広域的な共同体を構築し、各機関の有する設備機器等の研究資源の相互利用や、企業からの研究開発相談に対するワンストップサービスの提供を促進する 「研究開発事業」は、産学官が連携して共同で実施する、実用化を目的とするリスクの高い研究開発を支援する 20年度概算要求額92.0億円／計画時予定総額594.5億円(5年間) 予算額20年度97億円, 21年度99億円 	<p>【総合評価】 地方の再生が主要な政策課題となっている現在、本プログラムの実施の必要性・緊急性は高く、実施することが適当</p> <p>【指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学技術を振興して地域の発展に結びつける各種施策との相乗効果の発揮 企業ニーズと技術シーズの高精度のマッチング 地域の強みを活かし、国際競争力のある事業・産業の創出を導く研究開発の推進
進事業【農林水産省】イノベーション創出基礎的研究推進	<ul style="list-style-type: none"> 「新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業」と「生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業」を統合化した競争的資金 農林水産業・食品産業等におけるイノベーションに繋がる革新的な技術シーズを創出するための基礎的な研究を競争的資金制度により推進 20年度概算要求額108億円／計画時予定総額864億円(8年間) 平成20年度から平成27年度までの8年間、国費総額864億円。(国費投入総額は、20年度予算概算要求額(108億円)に単純に8年間を乗じて算出したもの。終了年度は、現行の食料・農業・農村基本計画の目標年度(平成27年度)に合わせたもの。) 	<p>【総合評価】 本事業においてはイノベーション創出に繋がる、透明・公正で合理的な個別研究課題の審査・評価を行う体制を構築したうえで、指摘事項に取り組みつつ、実施するのが適当</p> <p>【指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究開発を推進すべき重点分野を示し、重点的に研究開発を推進する仕組みの整備 若手研究者の研究費やベンチャー育成の研究期間の運用を弾力化 農研機構において外部意見を含めた制度評価を行い、制度改善に結びつける仕組みの整備 本事業実施前に現行の事業のレビューを行い、その結果を制度設計に反映させる 研究開発成果の活用促進が図られるように成果情報の整備と広報の取組強化
水産省) 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業【農林	<ul style="list-style-type: none"> 「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」を見直した競争的資金制度 農林水産業・食品産業等の発展や地域の活性化等の農林水産政策の推進及び現場における課題の解決を図るため、実用化に向けた技術開発を競争的資金により推進 20年度概算要求額90億円／計画時予定総額720億円(8年間) 平成20年度から平成27年度までの8年間、国費総額720億円。(国費投入総額は、20年度予算概算要求額(90億円)に単純に8年間を乗じて算出したもの。終了年度は、現行の食料・農業・農村基本計画の目標年度(平成27年度)に合わせたもの。) 	<p>【総合評価】 本事業については、多様な技術的課題に繋がる透明・公正で合理的な個別研究課題の審査・評価を行う体制を構築したうえで、指摘事項に取り組みつつ、実施するのが適当</p> <p>【指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効率的・効果的な事業推進を図るため、研究開発分野ごとのアウトカムとロードマップをもとに本事業の役割を明確化 研究領域の設定過程において外部有識者の意見聴取などを行う 研究領域の設定には技術的課題・研究目標を明示する POの責任・権限の明確化、政策部等との連携を強化する体制の構築

総合科学技術会議が実施する国家的に重要な 研究開発の評価について

平成 17 年 10 月 18 日
総合科学技術会議

1. 評価目的

内閣府設置法第 26 条第 1 項第 3 号に基づき、国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から、総合科学技術会議において大規模な研究開発その他の国家的に重要な研究開発の評価を行い、その結果を公開するとともに、評価結果を推進体制の改善や予算配分に反映させる。

2. 評価対象

(1) 大規模研究開発

①新規の研究開発（事前評価）

新たに実施が予定される国費総額が約 300 億円以上の研究開発

②継続中の研究開発（中間評価）

①の評価を実施した研究開発のうち、関係府省等による中間評価の実施状況等を踏まえ評価専門調査会が中間評価の必要を認めたもの

③終了した研究開発（事後評価及び追跡評価）

①の評価を実施した研究開発のうち、研究開発が当該年度の前年度に終了したもの及び評価専門調査会が追跡評価の必要を認めたもの

(2) 総合科学技術会議が指定する研究開発

総合科学技術会議が以下の視点等から評価の必要を認め指定する研究開発

- ・ 科学技術や社会経済上の大幅な情勢変化が見られるもの
- ・ 計画の著しい遅延や予定外の展開が見られるもの
- ・ 社会的関心が高いもの（倫理、安全性、期待、画期性等）
- ・ 国家的・府省横断的な推進・調整の必要が認められるもの

指定に当たっては、評価専門調査会が、府省等における対応の状況も踏まえつつ、総合科学技術会議による評価の必要の有無を調査・検討する。

3. 評価方法

評価専門調査会が、必要に応じて外部の専門家・有識者を活用し、府省における評価結果も参考として調査・検討を行い、その結果を受けて総合科学技術会議が評価を行う。

4. その他

大規模研究開発のうち新規の研究開発については、総合科学技術会議が実施する事前評価における指摘事項への各府省及び研究実施機関の対応状況等について、研究開発が開始された後に評価専門調査会がフォローアップを行う。